

ホクレン営農支援情報

(2020年2月号)

●「弟子屈町植生改善プロジェクトの取り組み」が農業普及活動高度化全国研究大会で農林水産大臣賞を受賞 《釧路支所 営農支援室》

釧路農業改良普及センター、JA 摩周湖、弟子屈町、ホクレン、雪印種苗で構成する「弟子屈町植生改善プロジェクト」は、平成 23～29 年にかけて町内の植生調査に基づく草地の更新・維持管理等の支援を行いました。

これは釧路農業改良普及センターが中心となって行った取り組みで、関係者が草地を歩いて調査（5 段階で評価）し、その評価結果と農業所得に正の相関があることが分かったことからスタート。評価の高い草地をもつ生産者の取り組みを参考にすることなどさまざまな取り組みを実施し、農業所得の向上につなげました（ある農家では取り組み 5 年目で経産牛 1 頭当たりの所得が 246%に）。

この度、11 月 26～27 日に東京で行われた第 7 回農業普及活動高度化全国研究大会において、本取り組みが最高の評価となる「農林水産大臣賞」を受賞しました。取り組みの詳細は全国農業改良普及支援協会 HP (<https://www.jadea.org/news/news-20191204.htm>) よりご覧いただけます。ぜひ参考にしてください。



植生調査の様子



草地の 5 段階評価

● 農福連携推進北海道セミナーでホクレンの事例を発表 《営農支援推進課》

農業分野と福祉分野が連携した「農福連携」には近年注目が集まっており、北海道においても農福連携の取り組みが数多く実施されています。農林水産省北海道農政事務所と北海道農政部では、これらの事例を広く紹介し、地域の人材が活躍する農福連携を推進するため2月13日（木）に北海道大学学術交流会館で「農福連携推進北海道セミナー」を開催します。その中で、ホクレン営農支援センターの取り組んでいる地域交流会やガイドブックについて紹介することとなりました。

セミナーの開催概要は下記のとおりです。ぜひご参加ください。

- 【セミナー】 農福連携推進北海道セミナー
- 【開催日時】 令和2年2月13日（木）
13:30～16:30
- 【開催場所】 北海道大学学術交流会館講堂
- 【定員】 250名
- 【参加費】 無料
- 【申込方法】 下記 URL より申し込みが必要（締切2月6日）
<https://www.contactus.maff.go.jp/j/hokkaido/form/191219.html>
※FAX・メールでの申し込みも可。

地域みんながつながる ノワフク 農福連携

農福連携は、農業と福祉が連携し、農業経営の発展と福祉分野での活躍を通じた自信や生きがいを創出し、社会参画を実現するものであり、北海道内でも様々な取組が展開されています。こうした取組を広く紹介し、地域の人材が活躍する農福連携の普及啓発に資するため「農福連携推進北海道セミナー」を開催します。

AA7645DA-84F5-417F-BD96-45A86AC1D6B3

すべては取組みだね!

農福連携推進北海道セミナー

日時：令和2年2月13日（木）13:30～16:30（受付13:00～）

会場：北海道大学学術交流会館講堂（札幌市北区北8条西5丁目）
*駐車場はございません。公共交通機関でお越しください。

参加費 **無料**

内容：

- 基調講演 「農業と福祉のCross Over（融合）から生まれるもの」
～長野県における農福連携事業から～
NPO法人 長野県セルフセンター協議会 農業就労チャレンジコーディネーター 沖村 さやか 氏
- 事例発表 「釧路市・仁成ファームにおける農福連携の取り組みについて」
有限会社仁成ファーム 第2牧場 場長 佐藤 昌芳 氏
青羽協働センター サービス管理責任者 梶野 豊 氏
- 取組紹介
①北海道 渡島総合振興局 農務課
②ホクレン 営農支援センター 営農支援推進課
- 施策紹介
①農林水産省 北海道農政事務所
②一般社団法人 日本基金（ノワフクJAS）

主催：農林水産省 北海道農政事務所・北海道農政部
後援：厚生労働省 北海道厚生局

問い合わせ先：農林水産省 北海道農政事務所 企画調整室（☎011-330-8801）

基調講演 沖村 さやか 氏
平成26年度に農業就労チャレンジコーディネーターに就任。
平成30年度までに同センターと農業者とのマッチングを延べ200件以上実施し、農業者へのサポーター派遣を行っている。
目指すは農業、福祉、企業等の枠を超えた視点からの地域活性化。

【問合せ先】 北海道農政事務所 企画調整室（Tel.011-330-8801）

● 「2020 北海道クリーン農業セミナー」のご案内 《研究企画課》

北海道クリーン農業推進協議会では、クリーン農業に関する理解促進や情報提供を目的

としたセミナーを下記の通りに開催します。今回のセミナーでは、日本協同組合連携機構の和泉真理さんより EU の環境保全型農業についての講演も行われます。ぜひ参加ください。

【セミナー】 2020 北海道クリーン農業セミナー

【開催日時】 令和 2 年 2 月 26 日（水）13:30～16:30

【受講場所】 ホテルモントレエーデルホフ札幌
12 階「ルセルナホール」



和泉真理さん

【募集人数】 先着 150 名

【内 容】 ○講演 EU の環境保全型農業への取り組み（日本協同組合連携機構 和泉真理氏）
○情勢報告 北海道クリーン農業推進計画（第 7 期）の推進方策について（北海道農政部食品政策課）
○研究報告 北海道で発生するコムギなまぐさ黒穂病について（道総研 中央農業試験場病虫部 相馬潤氏）

【その他】 セミナーの詳細の確認や参加申し込みは北海道クリーン農業推進協議会（下記 URL 参照）まで。

<http://www.yesclean.jp/topics/00000417.html>

●スマート農業冬季研修会【胆振東部地区】を開催 《苫小牧支所 営農支援室》

苫小牧支所では、1 月 9 日に厚真町総合福祉センターにおいて、JA とまこまい広域・JA むかわ・JA びらとり合同のスマート農業研修会を開催し、各 JA の生産者・職員、農業改良普及センター職員ら 70 名ほどが参加しました。

今年 4 月から厚真町役場設置 RTK 基地局がホクレン RTK システムへ加入することを見

据えて、研修会では同システムの仕組みやむかわ町穂別地区での測位精度の現地調査結果について講義を行ったほか、最新のドローンの性能なども紹介。株式会社エンルート「AC101」とホクサン株式会社「XAG P30」の展示も行いました。参加者からはさまざまな質問があり、関心の高さが伺えました。



研修会の様子



「研修会のポイント」を説明する苫小牧支所荘司室長

● 訓子府で担い手向け研修会「小麦・豆類」を実施しました 《営農支援推進課》

営農支援センターでは、就農年数の浅い担い手の人材育成を目的とした研修を実施しています。今回、「小麦・豆類」をテーマに1月16～17日に訓子府実証農場で研修を行い、11名の生産者が参加しました。

研修では、小麦や豆類の基本的な栽培技術のほか、土づくりやスマート農業、販売情勢、病虫害と防除法などについて学びました。また、参加者は今年度完成したばかりの研修寮に宿泊。1日目の夜は懇親会も行い、地域を越えて交流を深める様子がみられました。



●アグリポート 23 号を発刊 《営農支援推進課》

2月1日アグリポート 23号を発刊しました。特集は「農業を強くする福祉の力」です。

農福連携の現場事例などから、多様な人材が農業で活躍するためのヒントをお伝えします。道外で先進的に農福連携に取り組んでいる京丸園株式会社では、農業に福祉の知恵を取り入れることで業務改善ができ、最終的に経営の強化につながっています。農福連携に取り組んでいない方にも参考になる内容です。そのほか、最新のドローン機種や、「ういず One」の導入事例なども紹介しています。ぜひご覧ください。



●アグリポート別冊「農福連携」ガイドブックを発行 《営農支援推進課》

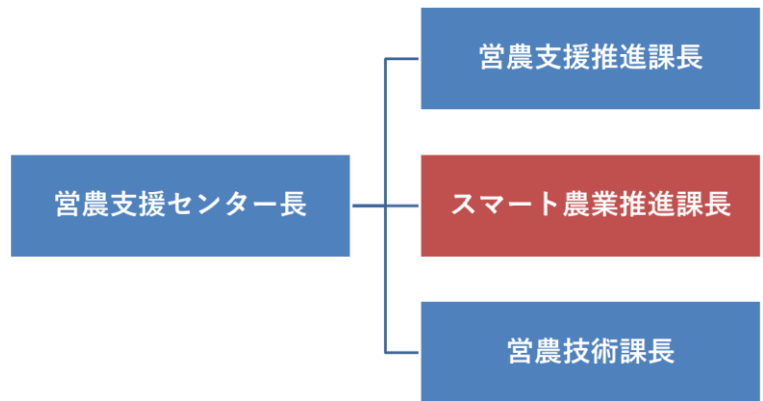
ホクレン営農支援センターでは農福連携に取り組むためのポイントを分かりやすく紹介したガイドブックを発行しました。アグリポート 23号の特集でも紹介している農福連携ですが、このガイドブックではより具体的な内容を掲載しています。農福連携に興味を持っている方やこれから始める方にきっと役立つ情報が満載です。

ぜひ、アグリポート 23号と合わせてご覧ください。



● 営農支援センターに「スマート農業推進課」を新設 《営農支援センター》

ホクレン営農支援センターに、2月1日より「スマート農業推進課」を新設します。これは、労働力不足課題や省力化・軽労化対策として日々技術的進歩を続けるスマート農業分野への対応を迅速かつ効率的に推進するためです。「ホクレン RTK システム」の運用なども担います。また、スマート農業に関する実証や関係機関（産官学）との連携、人材育成なども行う予定です。



● 「ホクレン農業総合研究所 情報交流会」のご案内 《研究企画課》

ホクレン農業総合研究所では、生産・流通・販売に関わるさまざまな研究・分析・検査を行っています。

「ホクレン農業総合研究所情報交流会」は、生産者や農協職員に向けて、農業総合研究所で得られた研究成果から、現場での即戦力が期待される結果を中心にご紹介するイベントです。ぜひご参加ください。



昨年の交流会の様子

【開催日時】 令和2年2月25日（火）

13:30～17:00

【開催場所】 ホクレン本所1階会議室（札幌市中央区北4条西1丁目3番地）

【講演内容】 ○エンジン黄化病について

○新規作物（さつまいも・落花生）に関する試験経過について

○令和元年度トルコギキョウ品種比較試験結果について

○電場処理技術を利用した玉ねぎ長期貯蔵技術の活用について

○MA フィルムを利用したスイートコーンの鮮度保持輸送技術の開発について

○訓子府実証農場での GAP 取得への取り組みについて

【その他】 お問合せ・申し込みは研究企画課まで (Tel.011-742-5434)

発行：ホクレン農業総合研究所 営農支援センター 営農支援推進課

Tel. 011-788-5467 E-mail. einousiensuisin@hokuren.jp